

会誌十三号を読ませていただいて

(新入会員からのお便り)

四十四回生 沖(木原) 永美子

この度は千里山会へお誘いいただきありがとうございます。存じます。早々に会誌十三号をお送り頂き楽しく拝読いたしました。

実家は東2丁目ですが3年前に母が亡くなり現在空き家のままになっており、千里山へも足が遠のいてしまった今日この頃でございます。紹介して頂いた伊藤千恵さんとは長年にわたり親しくさせて頂いたいただき、ご母堂の多恵子様にも大変お世話になって参りました。

また、肥塚さん、北村さんとも吹田一中の同級生で良く存じ上げております。懐かしいです。

主人の転勤に伴ってこちらへ参りましたが、任期がいつまでか未定で、果たして首都圏に何年暮らせるのかも全くわかりません。それでも懐かしい千里山の先輩諸兄諸姉とご縁をいただければこ

の上ない幸せでございます。よろしくお願い申し上げます。

会誌十三号を読ませていただき懐かしく、思い出すままを書かせて頂きます。

千三小発足の頃 P59・81

昭和43年千二小内に仮住まいで……とのことで、すがその一学期間私共千二小残留組4クラスは、講堂をベニア板で仕切った急ごしらえの教室(?)で授業を受けました。

隣のクラスの声がツツ抜けだったり、男児達がふざけて暴れるたびにベニア壁が倒れ、用務員さんがトンカチ片手に飛んで見える……という日々でした。

2学期が始まり、千三小の校舎が完成した後、移ったのは古い校舎(木造の)!! 千三へ移った子たちはピカピカ新築なのにずるい!! とか子供ながら大騒ぎしたものです。

西田慶二先生の思い出

P72

西田先生は私共の在学中(確か卒業までずっと)教頭先生でいらつしやいました。

毎朝校舎入口に立たれ、あの独特の口調とあたたかな笑顔で生徒一人一人に「おはようさん!!」と声をかけて下さったのを懐かしく思い出しました。

佐怒賀弘子様

P 124

歌に詠んでおられるご母堂鈴子様とは私の祖母が大変親しくさせて頂きました。いつしか家族ぐるみでおつきあいさせて頂いたくようになり、佐怒賀様にもずいぶん可愛がっていただきました。母を亡くしました後ずっとご無沙汰しておりましたが、再びご縁をいただけて嬉しく存じます。

米崎ふゆ子様

P 128

実家がすぐ近所でした。お姉さまの三輪なつ子先生には幼少時絵画教室でお世話になりました。また、米崎様のご長女まゆみさんとは同級生で仲良くさせて頂きました。

まゆみさんが千二小ご卒業の頃に埼玉へ転居なさったと記憶しております。東京芸大日本画科を経てアメリカへご留学なさったと記憶しておりますが今どうなさっているのでしょうか? もし東京へお戻りならまたぜひとも千里山会にてご縁をいただきたいと思います。

延原武春さんの近況

P 136

私は千二小の児童だった頃から合唱活動が続けておりますが、大阪でOL生活をしておりました昭和末期の4年間程P 137に記載のあります「コールドリベット・コール」に所属しておりました。この団では毎年12月に朝日新聞社主催のチャリティコンサートとしてパッハの「クリスマスオラトリオ」を演奏しており、このステージでは必ず延原先生の指揮のもとテレマン室内楽団と共演させて頂いたいただきました(おそらく今もずっと続いていると思います)。夙川教会でも歌わせていただきました。

結婚後残念ながら大阪に居住することがなく

「コードリベット・コール」からは離れてしまいました
ましたが関西在住の合唱仲間から常々延原先生（私
共は『のぶりん』とお呼びしておりますが・・・）
のご活躍を伺っております。

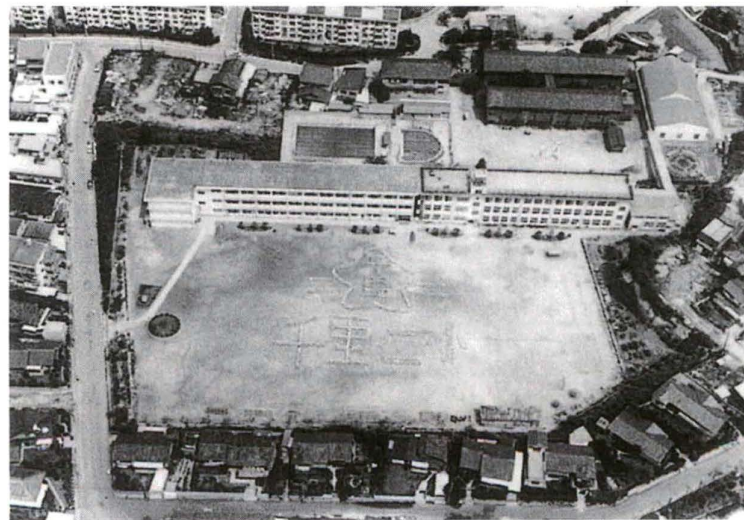
先生が作り出される音楽はとても緻密で細やか
ながらあたたかく、我々アマチュアにも妥協する
ことなくより良いもの、より高いものをお求めで
した。いつかまた先生の棒でバツハのオラトリオ
やカンタータを歌える機会があればいいな・・・と
願っております。

この会誌が本当にいろいろな方々とのご縁を改
めて感じさせてくれました。心よりお礼申し上げ
ます。

今年もそろそろ桜の便りが届き始めました。千
里山団地や関大構内の桜をなつかしく思い出しま
す。機会を見つけてまた千里山へも帰ってみよう
と思います。

今後ともよろしくお願い致します。

3月31日記



千二小空撮 昔の講堂以外、旧校舎も全て健在です。
昭和46年創立40周年記念人文字 44肥塚隆裕さん提供